

みなさん、こんにちは！野岸祭もうすぐですね！準備は進んでいますか？3年生は最後の文化祭となります。精一杯楽しみましょう！2年生はミュージカルの初舞台、1年生は初めてコンサート、それぞれの場所で文化祭を盛り上げていきましょう！！さて、大変遅くなりましたが、今年度最初のLINDENBAUMをお届けします。

4月より素敵な講師の先生方をお迎えしました。ご紹介いたします。

## 神林杏子先生 (ピアノ)

4月よりピアノ講師としてお世話になっております神林杏子です。  
小諸高校に来て2ヶ月経ちました。廊下などで会うと皆さん「こんにちは」と明るく挨拶して下さいと嬉しです。音楽科の皆さんは授業、部活、レッスン、練習・・・と忙しい毎日かと思いますが、高校生というかけがえのない時間を先生方、仲間達と楽しみながら過ごして欲しいと思います。すべての経験は音楽表現につながります。音楽の勉強は一生続きますが、少しでも皆さんのお役に立てるよう頑張ります。よろしくお願ひいたします。

## 村岡陽子先生 (ヴァイオリン)

皆さん、こんにちは。私は春からこちらで専任講師をしています。まだ数える程しか通っておりませんが、会うと必ず元気よく挨拶して下さいみなさんに励まされる思いが致します。私は東京音楽大学卒業後にしばらく渡英しました。文化も考え方も表現の仕方も全く違う土地で生活しながら音楽を学ぶことは衝撃的な体験で、財産になりました。歴史の深い小諸で音楽に打ち込むことができる、素晴らしいことだと思います。残りの高校生活を思う存分楽しみながら、失敗を恐れず、それぞれの目標に向かって頑張りたいと願っております。趣味、ガーデニング、旅行、劇場鑑賞、ラジオを聴く(小諸の通勤はもちろんラジオがお共)。

## 鈴木勝久先生 (トランペット)

みなさん、こんにちは！この春から非常勤講師として、トランペットを担当します鈴木勝久です。長野県の中学や高校の吹奏楽部を数多く教えている関係で、小諸高校には今まで、トランペットに限らず、数多くの生徒を送ってきました。前任の中村幸二先生も、私の生徒で、小諸高校第二期生でした。まさか私自身が小諸高校に来るとは思ってもいませんでしたが、縁というのは不思議なものですね。武蔵野音楽大学卒業、東京室内管弦楽団を経て、現在フリー。大学4年と大学1年の2人の息子を持つ父親です。よろしくお願ひいたします。

## 伊藤悠里先生 (ピアノ伴奏員)

はじめまして。伴奏員としてこれからお世話になります伊藤悠里と申します。  
エネルギーに溢れる皆さんと音楽に向き合い、一緒に曲を作り上げていけることがとても楽しみです。  
普段は自宅や音楽教室で指導しながら演奏活動をしておりますが、試験や校内演奏会には出来るだけ多くの皆さんのご依頼にお応えできるようにしたいと思っております。他の演奏会の準備などが同時進行しているため、伴奏依頼しようかなと考えている方はなるべく早めにご相談くださいね！沢山の皆さんとお知り合いになれることを願っています。宜しくお願ひ致します。

## 新納洋介先生 (ピアノ)

はじめまして。この4月からピアノの指導をさせて頂いております新納洋介です。  
初めてのレッスンから早や1ヶ月が経ちました。とても素直で、真面目な門下生達に恵まれ、小諸高校に出勤するのを毎週楽しみにしています。  
クラシック音楽は、ハイドンに師事したベートーヴェン、ベートーヴェンに師事したツェルニー、ツェルニーに師事したりスト、といったように、ヨーロッパで長い間、教え受け継がれてきました。ちょっとおこがましいのですが、私も師匠から学んだこと、今までの勉強の過程で会得した全てを皆さんに伝え、脈々と受け継がれてきたこの素晴らしい伝統芸術を、皆さんに受け継いでもらえたら、と思っています。  
皆さんの小諸高校での3年間が、輝かしい将来への土台を築く有意義な時間となるために、少しでも力になれるよう、私も日々精進していくつもりです。  
皆さん、一緒に頑張りましょう。どうぞよろしくお願ひ致します。

♪音楽研究室にも新たな職員をお迎えしました。

★1年担任★

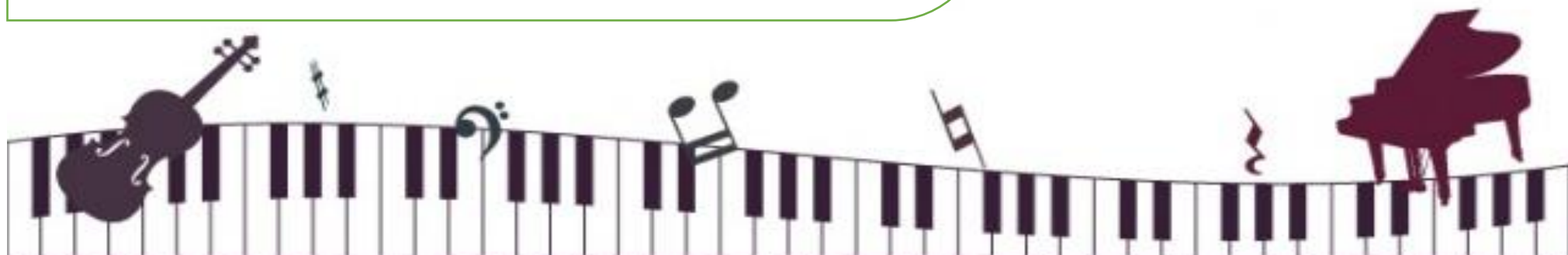
★吹奏楽部顧問★

## 小山暁香先生 (音楽科)

保護者の皆様、生徒の皆さんこんにちは。  
音楽科では4月に36名の新入生を迎えました。遠距離通学は勿論、下宿生も多く在籍しています。私もこの4月から新たに本校に赴任いたしました。  
入学式の折には、自分が「今から出す音」にこだわりを持って練習していこう、そして自分の「引き出し」を高校時代に増やしていこう、増やすために勉強し、学ぶことを大切にしよう。少ない引き出しでは人間関係も、音楽も「一方的な見方、解釈」になってしまうから・・・そしてチーム音楽科、チーム小諸高校の一員と自覚して生活していこう、などと生徒の皆さんに話をさせて頂きました。  
この2カ月を振り返ると「やる事が多すぎて、時間が足りない！」という人と、「与えられていることが多すぎて時間が足りない！」という両方の人がいるように感じます。(当の自分も全く時間が足りていません。)忙しくとも、お互いにレッスンや授業、個人練習などあらゆる部分を利用して、自己のレベルをどんどん向上させていきませんか？今現在「大変・・・」、「難しい・・・」で立ち止まっていることはありませんか？それぞれの先生にさらに難しい課題をもらいに行くぐらいになっていきませんか？今の時代とそぐわない言葉かもしれませんが、高校時代、泣くほど頑張ってみようよ、です！これから皆さんがレベルアップを続け、音楽する姿を本当に楽しみにしています！

## 高砂佑介先生 (音楽科)

こんにちは。3月に大学を卒業し、4月から本校に赴任しました。初めての学校が小諸高校、それも音楽科ということで、毎日が新鮮で刺激的で本当に幸せだと感じています。  
私の高校は普通科で、本格的に音楽を学んだのは大学に入ってから4年間だけでした。4年間は、様々な経験、成功、失敗、とにかくいろいろなことを経て、音楽だけでなく人としても成長できた期間でした。そんな経験を高校の時から得ることができる皆さんは本当に幸せだと思います。是非、存分に音楽と向き合い、ぶつかり、大きく羽ばたいていってください。  
また、今年から吹奏楽部の顧問になりました。強豪小諸高校の未来を、生徒と一緒に全力で創っていこうと思ひます。吹奏楽をはじめ、素敵な音楽がいつも溢れる学校、そんな小諸高校で、是非これから一緒に頑張りましょう。





次に、4月から6月までの音楽科行事をお伝えします。

♪4月6日(水) 入学式・・・36名の新入生を迎えました!

♪4月22日(金)～23日(土) 1年生ふれあい合宿 in 軽井沢高原研修センター



素敵なホールでクラス合唱♪



朝のお散歩♪

ふれあい合宿は音楽科に入学して最初の行事で、2日間ずっと緊張していました。まず、クラスメイトとはまだなじめていない状態で、話をしたことのない人が大半でした。しかし一緒に食事をしたり、練習をする中で次第にコミュニケーションがとれ、仲も深まりました。そして、ふれあい合宿といえばアガールの発表会です。短い時間でまだ名前もよく覚えていない仲間と一つの音楽をつくるのは大変で、ぶつかることもあれば、お互いに教えあったりもしました。本番の演奏ではレヴェルの高い演奏が聞け、自分たちのアガールも無事終えることができました。また、音楽科の先生方の演奏を聞かせていただいた時には本当に感動しました。先生たちの音がホールいっぱい響いていてすごい、と思いました。ふれあい合宿は今後の自分たちのバネになるような本当に良い行事でした。学んだ多くのことを今後の練習に生かしていきます。(1年 Tさん)

♪6月2日(木) ピアノ公開レッスン

ショパン国際コンクールで第4位入賞され、現在もポーランドを拠点とし世界的に活躍されるピアニスト山本貴志先生の公開レッスンが行われました。



レッスン終了後、山本貴志先生と一緒に♪

公開レッスンは、たくさん聴いている人がいて、とても緊張しました。最初に、山本さんのミニコンサートがありました。素晴らしい演奏を聴いて、楽しい気持ちでレッスンに臨むことができました。フレーズのまとまりをもっと意識して流れるように弾くことや、指の角度を平らにして、柔らかい音を出すこと、変わっていく和音の一つ一つ聴くことなどを教えていただきました。三十分間はあっという間でした。色々な事を教わって、とても良い経験をさせていただきました。今回教わったことが、しっかりとできるように、練習を頑張っていきたいです。そして、もっと自分が出す音をよく聴いて、丁寧に練習して、繊細な音が出せるようになりたいです。(2年 Nさん)

私は今回、初めて公開レッスンを受けさせていただきました。山本貴志先生のレッスンでは、私のレッスンでももちろん、他の人のレッスンでも沢山のことを学ぶことができました。4人のレッスンの中で、山本先生が一番おっしゃっていたことは、耳を使って和音を考えながら弾くことです。レッスンの途中でも、自分の音をよく聴くことで、音の変化を感じることができました。また、レッスンの後に、音楽に表情をつけるために、音楽と離れたところでも色々な経験をした方がいいというお話もありました。30分のレッスンや山本先生のお話を聞くことができ、とても充実した時間になりました。今回教わったことは、ピアノはもちろん、幅広い音楽の中で共通することだと思います。なので、これからの音楽活動や生活の中で活かしていきたいと思います。(3年 Kさん)

今回山本貴志さんの公開レッスンを受講させていただき、自分の求める音や音楽を追求するために必要なことをより明確に感じることができました。具体的に何が明確になったのか、私の受講曲ショパンの練習曲第13番作品25-1を例に挙げると、私は受講前この曲は旋律となる音よりもそれ以外の内側で動いているような音をいかに美しく演奏できるかが、この曲の魅力を最大限に引き出すことができるポイントだと思っていました。そして実際にレッスンを受講し、方向性は間違っていないと思いました。しかし私は「旋律とそれ以外の音」とで弾きわけようとしていたのに対し、山本先生は「和音の上に旋律が乗る」とおっしゃっていて明らかな考え方の違いを感じました。考え方ひとつでまったく違う演奏になるのだと思いました。楽曲に合った音楽的な読譜力を身につけたいです。そして、今回このような機会をいただいたことに感謝し、今後も自分の理想とする音楽を追求していきたいです。(3年 Sさん)

僕の隣には講師の先生、そして客席には生徒や聴きにこられた大勢の方々に囲まれたレッスン。しかもその講師の先生は、世界的に活躍するピアニスト山本貴志さん。普段から人一倍緊張する僕はさらに緊張した。レッスンの前にミニコンサートでショパンを何曲か演奏してくれた。山本貴志さんの演奏は以前に聴いたことはあるが、改めて聴くとやはり凄く、彼の発するすさまじいオーラに鳥肌が立った。余計に緊張してきた。僕はベートーヴェンのピアノソナタ27番第1楽章を見てもらった。この曲はすごく情感溢れる曲だ。どのような感じで見ていただけるのか、期待と不安な気持ちだったが、穏やかに優しくとてもわかりやすいアプローチの仕方であって教えてもらったので、だんだん緊張もなくなり、様々なことが勉強になった。レッスン終了後、山本貴志さんとお話する機会があり、どうしたらあまり緊張しなくなるのかを質問し、とても参考になった。今回、貴重なレッスンを受けさせてもらい素晴らしい方から教えていただいたことを忘れずにこれからもっと自分の可能性を信じて頑張っていきたいと思った。(3年 Sさん)

♪5月28日(土) 東信地区合同音楽会 in 東御市サンテラスホール・・・1年生は、小諸高校音楽科生徒としての初ステージでした。

♪6月 7日(火) 第1回校内音楽会

♪6月13日(月)14日(火) 3年主専攻試験・1年副専攻試験 16(木)2年副専攻試験

♪6月18日(土) 音楽科体験入学・・・約90名の中学生と交流会をしました。

4月から2か月が経ちました。充実した高校生活を送っていますか?

いよいよ7月はコンクールが始まります。夏休み中は合宿もあり、音楽科として、部活動としての行事も大切な時間です。楽しく充実した生活を送るには体調管理にも気をつけましょう!熱中症対策をし、元気に活動しましょう!!